

人権教育だより

片品中学校 人権教育だより 8号 H28.10.27

11月の人権目標

広い視野をもって生活しよう

いよいよ11月になります。11月の人権目標は「広い視野をもって生活しよう」です。11月には「片品文化の日」や郡音楽祭などがあります。また3年生は中学生議会が行われ、文化的行事が目白押しです。ぜひ自分の価値観だけでなく、人の考え方や感性に触れられると良いと思います。そのためには常に周りの人と交流したり、他人の意見に耳を傾けたりすることが大切です。ぜひ、相手の考えや感性を受け入れる幅広いもの見方「広い視野」をもつ意識があると良いですね。

人権集中学習

日本では、「世界人権宣言」が12月10日に採択されたことを記念して、1949年（昭和24年）から毎年12月10日を最終日とする1週間（12月4日から同月10日まで）を、「人権週間」と定めています。片品中学校では11月21日から12月2日を入権集中学習の期間と定め、活動が行われます。12月の人権便りにはその活動内容を紹介します。もう一度人権について考えたり、思いやりの心について再考したりする週間にしていきましょう。



福祉講演会

10月14日（金）に福祉講演会が行われ、車いすバスケット協会の高橋俊一郎さんが来校され講演をしてくださいました。高橋さんの壮絶な人生の話を伺い、「命の大切さ、思いやり、努力、あきらめない心」などについて深く考えさせられました。下に記載されているのは生徒の感想です。

私は講師の人の話で、もう身体がまひして動かないけど生きることを諦めないでいるという姿勢を学びすごく感動しました。今では車いすバスケをしていて、腕の力でゴールを決めていてすごいなと思いました。高校生活では身体が動かない高橋さんをクラスみんなが助けてくれている話をきいて、「周りの人もすごく友達おもいで優しいな」と思いました。そして友人関係の大切さを沢山学びました。高橋さんは夢を諦めないで頑張っていてすごいなと思いました。 【1年 星野美月さん】



今回の福祉講演会では多くの考え直さなければならないことがありました。一つは「命の大切さ」です。どんなに自分が追い込まれていても絶対に死んではいけないと言うことです。生きていれば何かしらの希望が見つかることがよくわかりました。二つ目は「あきらめない心」です。無理だと言われていたのだとしてもあきらめず努力すれば何かを成せられるんだなと思いました。これからは自分も諦めない心をもって生活したいです。

【2年 星野快登君】

今回車いすバスケや高橋さんの話が色々聞いて学べる事が多くありました。高橋さんの体験談はすごく、前向きに生きようと懸命に努力していてとても感動しました。車いすバスケもすごく大変なのに日々、練習していて「あきらめない」という大切さを感じました。「あきらめない」ということは必ず強さにつながります。自分も見習っていこうと思いました。

【3年 倉田葵奈さん】